

新年のごあいさつ



登別市議会議長
成田 昭浩

あけましておめでとうございます。
年頭にあたり登別市議会を代表し、市民の皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本市議会は昨年5月に、各常任委員会が新体制となり3常任委員会におきまして、重点活動テーマを掲げ、2年間の委員会任期の中で、市民の皆さまからの重点活動テーマに関するご意見やご要望を十分にお聞きしながら市への政策提案や提言につなげていきたいとの思いから、議会総意のもとに、さまざまな活動を展開しております。
また、昨年末には、登別市議会基本条例に基づき『登別市議会パブリックコメント実施要綱』を新たに制定いたしました。
市議会からの条例制定などの過程におきましても市民の皆さまからこれまで以上にご意見をいただくことに努め『市民と協働する議会』、『開かれた議会』を目指し、全力を尽くしてまいり所存であります。
結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、明るくすがすがしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
市は、子どもたちが安心して学ぶことのできる教育環境の整備のため、小・中学校の耐震化や鷺別小学校の建て替えなどに優先して取り組んでまいりましたが、その他の公共施設においても老朽化が進んでおります。
昨年、老朽の度合いや耐震性能などを考慮して公共施設などの整備の優先順位を検討し、市民生活に影響の大きい『市役所本庁舎の建て替え』を優先順位1位と定め、11月に実施した地区懇談会で市民の皆さまのご意見を伺いました。地区懇談会でのグループワークでは、全てのグループから「建て替えは必要」とのご意見をいただいたところでもありますので、検討を加速させてまいります。
さて、本年は、市民憲章制定50周年と登別温泉開湯160年にあたる記念すべき年です。これらの節目をまちづくりを活性化させる契機とし、さらに大きな節目である2020年の市制施行50周年に向けて、市民の皆さまと手を携え、協働のまちづくりを力強く推進する1年にしたいと考えておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。
結びに、本年が皆さまにとって、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。